

平成 29 年度「ふるさとやまぐち生活体験活動推進事業」実施報告書

長門市立深川小学校 第 5 学年 (78 名)

平成 29 年 8 月 1 日～8 月 2 日 実施

1 活動のねらい

- 俵山の自然や人々との交流を通して、長門のよさをあらためて感じ取らせ、ふるさとを愛する心を育てる。
- 働くことの意義や素晴らしさに気付かせるとともに、民泊を通して人とのつながりやふれあいの温かさを感じ取らせる。
- 民泊先の方と一緒に規則正しい生活や食事作り・掃除などの活動を通して、礼儀作法を身に付けさせる。

2 全体の指導計画 【主な活動地域名：長門市俵山地区】

	期 間	活動の内容	単位時間数
事前指導	7 月 10 日～ 7 月 27 日	○学年集会による、民泊学習の目的や意義の説明 ○活動グループによる、目的目標の設定 ○宿泊グループによる、宿泊目標の設定	5
実施	8 月 1 日～ 8 月 2 日	○体験活動「畑作り、そばの種まき」 「河川プール・沢遊び体験」 ○民泊体験 ○体験活動「そば打ち」「郷土料理（押しずし）」 「パン作り」「能満寺登山」	12
事後指導	9 月 1 日～ 9 月 12 日	○お礼の手紙を書こう ○民泊体験のふり返り（活動で学んだこと）	3

3 活動の展開

8 月 1 日 (火)		8 月 2 日 (水)	
8:30	学校発	8:30	俵山中学校体育館集合
9:30	入村式	10:00	体験活動 3 「そば打ち体験」「郷土料理（押しずし）」 「パン作り」
10:00	体験活動 1 農業体験（畑作り、そばの種まき）	11:30	昼食
12:30	昼食	13:00	体験活動 4 能満寺登山
13:30	体験活動 2 河川プール・沢遊び体験	15:30	退村式
17:00	対面式	16:00	俵山出発
17:30	民泊開始	16:30	学校着

4 実施上の留意点

- 指導上の留意点や工夫した内容等
活動・宿泊班づくりでは、人間関係の広がりを考えて集団をつくった。
- 評価における工夫や留意点
「生活体験活動のしおり」を作成し、事前にめあてを記入し、体験活動ごとにふり返りができるようにした。

5 活動の成果と課題

(1) 成果と課題

- 事前事後のアンケート調査結果から、以下のような変容が見られた。
 - ・「初めて会った大人の人と話ができる」 31 ポイント向上
 - ・「相手の気持ちを考えて行動することができる」
21 ポイント向上
 - ・「米や野菜を作ったり魚を取ったりする仕事は大切だと思う」 26 ポイント向上
- 児童生徒や学校等における教育的効果
事前事後のアンケート項目「今までやったことのない体験をしてみたいと思う」では、22 ポイント向上した。2学期の運動会や栈敷集会など、行事や活動の様子を見ると、進んで行動したり、相手の気持ちを考えて取り組んだりする児童が多くなったように感じた。
- 外部指導者や受け入れ先での所見等
入村式のオリエンテーションで、指導者の方に民泊の日程や活動内容について詳しく説明していただいた。始めは少し不安であった子どもたちが、活動への見通しをもつことができ、その後の活動に進んで取り組むことができた。
- 参加した児童生徒の感想
畑づくりやそばの種まきは大変だったけど、やっぱり農業は大切だと思いました。
今までより、相手の気持ちを考えて行動することができ、自然の美しさを味わえました。この民泊体験を家のお手伝いや学校の生活に生かしていきたいです。
- 指導上の課題点等
例年に比べ、暑い中での実施となった。初日の畑づくりやそばの種まき体験では熱中症など、参加児童の体調不良が心配されたが、指導者と相談しながら作業の合間に随時休憩をとり、最後まで農業体験を行うことができた。

(2) 今後の改善点

体験活動の内容を考えると、初夏や初秋の実施が望ましい。しかし、学校の教育活動や授業時数の確保等を考えると、長期の休業中の実施がより現実的であろう。その際、児童の体調管理の徹底や体調不良の児童への対応等、学校と指導者や受け入れ先施設との事前協議や連絡体制の確立が必要と考えられる。



【畑作り・そばの種まき体験】



【河川プール・沢遊び体験】



【民泊先での様子】



【そば打ち体験の様子】



【民泊先の方と一緒に】